



平成25年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年7月23日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社メルコホールディングス

コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 牧 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 松尾 民男

TEL 052-251-6891

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	25,614	16.7	378	81.7	605	72.3	350	73.0
24年3月期第1四半期	30,757	1.7	2,069	28.6	2,181	25.2	1,295	30.8

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 377百万円 (72.4%) 24年3月期第1四半期 1,365百万円 (28.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	15.76	—
24年3月期第1四半期	58.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	65,343	40,956	62.7	1,843.70
24年3月期	70,328	41,023	58.3	1,846.72

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 40,956百万円 24年3月期 41,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	61,800	2.4	3,300	17.6	3,600	15.3	2,200	14.3	99.04
通期	138,000	17.6	8,000	22.1	8,600	20.6	5,400	21.5	243.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社バッファローコクヨサプライ
(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	22,237,873 株	24年3月期	22,237,873 株
期末自己株式数	25年3月期1Q	23,677 株	24年3月期	23,677 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	22,214,196 株	24年3月期1Q	22,214,473 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要等により、ゆるやかに持ち直す傾向は見られたものの、長引く欧州債務危機、円高の長期化、電力供給不足への懸念等により、不透明な状況が続きました。

当社グループに係るデジタル家電業界は、スマートフォン・タブレット端末の普及が進みましたが、テレビ市場は地デジ化移行の反動から著しく縮小し、その周辺機器市場も縮小しました。また、パソコン周辺機器市場も、消費マインドの低迷により、厳しい状況が続きました。

当社グループは、このような厳しい状況の下、ユーザーニーズを反映した高付加価値製品の開発、販売を目指して機構改革を行い、開発、販売体制の強化に努め、国内市場でのシェア確保に努力するとともに、米国において次世代無線LAN規格「IEEE802.11ac」対応製品を世界で初めて※¹販売する等、海外事業の強化にも注力しました。また、市場が拡大するスマートフォン・タブレット端末の周辺機器の発売、拡販に努めました。しかし、前年の地デジ化移行特需の反動による、デジタル家電市場の大幅な縮小に起因する市場の落ち込み、主力のネットワーク製品の価格下落により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前年同期を大きく下回りました。

これらにより、当第1四半期の売上高は256億14百万円（前年同期比16.7%減）、営業利益3億78百万円（同81.7%減）、経常利益6億5百万円（同72.3%減）、四半期純利益3億50百万円（同73.0%減）となりました。

主要な製品別の状況は以下のとおりです。

メモリ製品では、パソコンのメモリ初期搭載容量の大容量化によるメモリモジュールの追加購入需要の低迷により、販売台数は前年同期比で9.8%減少しました。その結果、売上高は前年同期比22.1%減の11億4百万円となりました。

フラッシュメモリ製品では、SD等メモリカード、USB3.0対応USBフラッシュの拡販に努めました。その結果、販売台数は前年同期比で32.6%増加し、売上高は前年同期比26.2%増の22億87百万円となりました。

ストレージ製品では、テレビの販売台数が著しく減少したことから録画用外付ハードディスク需要も減少しました。その結果、販売台数は前年同期比で18.9%減少し、売上高は前年同期比3.1%減の93億93百万円となりました。

NAS（ネットワークハードディスク）製品では、スマートフォンやタブレット端末等から自宅のNASにアクセスする、プライベートクラウドストレージとしての活用提案を引き続き行いましたが、新製品投入の端境期にあたり、国内及び海外において売上は減少しました。その結果、販売台数は前年同期比で28.7%減少し、売上高は前年同期比で14.4%減の28億82百万円となりました。

ネットワーク製品では、次世代無線LAN規格「IEEE802.11ac」に対応した製品を他社に先駆け米国市場に投入しました。また、スマートフォン・タブレット端末で快適にインターネットを楽しむことを提案するため、専門知識なしで簡単に設定、Wi-Fiに接続できる「AOSS2」を搭載した製品を発売する等市場拡大に努めました。その結果、販売台数は前年同期比で3.5%増加しましたが、売上高は前年同期比13.5%減の53億41百万円となりました。

デジタルホーム製品では、アナログテレビ用地上デジタルチューナー、レコーダーの需要が大幅に減少しました。その結果、販売台数は前年同期比90.6%減少し、売上高は前年同期比で89.4%減の3億78百万円となりました。

サプライ・アクセサリ製品では、コネクタの向きを気にせず挿せる“どっちもポート”を搭載した「シガー充電アダプタ」、「どっちもUSBケーブル」等ユーザーニーズを反映した高付加価値製品の拡充に努め、スマートフォン・タブレット端末向け製品は伸張しましたが、PC周辺及びTV向け製品が減少した結果、販売台数は前年同期比13.9%減少し、売上高は前年同期比で6.8%減の26億21百万円となりました。

[四半期製品分類別連結売上高]

	平成24年3月期 (第1四半期累計期間)		平成25年3月期 (第1四半期累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
メモリ	1,417	4.6	1,104	4.3	△22.1
フラッシュメモリ	1,812	5.9	2,287	8.9	26.2
ストレージ	9,698	31.5	9,393	36.6	△3.1
NAS	3,368	11.0	2,882	11.3	△14.4
ネットワーク	6,177	20.1	5,341	20.9	△13.5
デジタルホーム	3,555	11.6	378	1.5	△89.4
サプライ・アクセサリ	2,813	9.1	2,621	10.2	△6.8
DOS/Vパーツ	1,230	4.0	1,045	4.1	△15.0
サービス	519	1.7	441	1.7	△15.0
その他	163	0.5	122	0.5	△25.2
合計	30,757	100.0	25,614	100.0	△16.7

海外事業については、アジア・オセアニア及び北米・中南米においては販路開拓・拡販が寄与し、売上高は伸張しましたが、欧州においては、債務危機による景気減速が影響し、売上高は前年同期比で38.2%減少しました。また巨大市場である中国でのバッファローショップの展開、米国での次世代無線LAN規格「IEEE802.11ac」対応製品を世界で初めて※1販売する等、ブランド力向上に取り組み、当社グループの最重要課題である海外展開戦略の強化拡充に努めました。

[海外売上高]

	平成24年3月期 (第1四半期累計期間)		平成25年3月期 (第1四半期累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
アジア・オセアニア	1,882	40.4	2,754	55.4	46.3
北米・中南米	770	16.5	977	19.7	26.9
欧州	2,007	43.1	1,240	24.9	△38.2
合計	4,661	100.0	4,971	100.0	6.7

※1 平成24年5月14日現在。当社調べ。IEEE802.11ac規格対応の無線LAN製品の店頭販売として。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は653億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億84百万円減少しました。流動資産は593億89百万円となり55億78百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少27億6百万円、受取手形及び売掛金の減少54億31百万円、商品及び製品の増加22億7百万円によるものです。固定資産は59億53百万円となり5億93百万円増加しました。これは主に投資有価証券の増加6億55百万円によるものです。

負債合計は243億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億17百万円減少しました。流動負債は215億86百万円となり、48億15百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少26億35百万円、未払金の減少4億42百万円によるものです。固定負債は28億円となり、1億2百万円減少しました。

純資産合計は409億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円減少しました。これは主に、四半期純利益の獲得3億50百万円と配当金の支払4億44百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月16日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社でありました株式会社バッファローコクヨサプライは、平成24年4月1日に連結子会社であります株式会社バッファローに吸収合併されました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,952	6,246
受取手形及び売掛金	24,896	19,465
有価証券	20,000	20,000
商品及び製品	4,693	6,900
原材料及び貯蔵品	3,969	4,473
繰延税金資産	540	317
その他	1,940	2,006
貸倒引当金	△25	△20
流動資産合計	64,967	59,389
固定資産		
有形固定資産	872	888
無形固定資産	1,492	1,404
投資その他の資産		
その他	3,012	3,677
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,995	3,660
固定資産合計	5,360	5,953
資産合計	70,328	65,343
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,386	16,751
未払法人税等	352	54
未払金	2,732	2,290
役員賞与引当金	25	6
製品保証引当金	136	129
その他	3,767	2,354
流動負債合計	26,402	21,586
固定負債		
繰延税金負債	1,186	1,172
退職給付引当金	998	968
役員退職慰労引当金	520	462
リサイクル費用引当金	157	156
その他	39	39
固定負債合計	2,902	2,800
負債合計	29,304	24,386

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	39,548	39,453
自己株式	△60	△60
株主資本合計	41,262	41,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	67
繰延ヘッジ損益	2	3
為替換算調整勘定	△354	△282
その他の包括利益累計額合計	△239	△212
純資産合計	41,023	40,956
負債純資産合計	70,328	65,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	30,757	25,614
売上原価	24,417	21,014
売上総利益	6,339	4,599
販売費及び一般管理費	4,270	4,221
営業利益	2,069	378
営業外収益		
受取利息	24	22
受取配当金	55	138
為替差益	14	14
持分法による投資利益	—	5
貸倒引当金戻入額	13	2
訴訟損失引当金戻入額	40	—
その他	44	45
営業外収益合計	191	229
営業外費用		
デリバティブ評価損	66	0
持分法による投資損失	0	—
その他	12	1
営業外費用合計	79	2
経常利益	2,181	605
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,182	604
法人税、住民税及び事業税	470	24
法人税等調整額	406	229
法人税等合計	876	254
少数株主損益調整前四半期純利益	1,305	350
少数株主利益	9	—
四半期純利益	1,295	350

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,305	350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	△45
繰延ヘッジ損益	△5	1
為替換算調整勘定	36	71
その他の包括利益合計	59	27
四半期包括利益	1,365	377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,355	377
少数株主に係る四半期包括利益	9	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	米国	
売上高					
外部顧客への売上高	27,609	369	2,007	770	30,757
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,254	1,201	—	6	3,462
計	29,863	1,570	2,007	777	34,220
セグメント利益又は損失(△)	2,000	21	63	△43	2,042

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,042
セグメント間取引消去	26
四半期連結損益計算書の営業利益	2,069

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	米国	
売上高					
外部顧客への売上高	22,879	578	1,239	916	25,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,863	1,388	0	35	4,287
計	25,743	1,966	1,240	951	29,902
セグメント利益又は損失(△)	494	13	△146	△20	341

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	341
セグメント間取引消去	37
四半期連結損益計算書の営業利益	378